

技術革新がもたらす 優れた多機能土壌管理シート

「(仮称)シリコンキャンバス」 新発売

-100℃~300℃までの耐熱性・耐寒性に優れた素材を生かしたシートが実現

【シリコンキャンバスについて】

小泉製麻株式会社(本社所在地：神戸市灘区)は、土木業界の知識と技術をいかした開発商品「(仮称)シリコンキャンバス」(特許出願中)を新発売しました。

「(仮称)シリコンキャンバス」は、シリコン素材をいかした多機能土壌管理シートとして、当社独自の特殊加工をシートに付加することで程よい透水機能を備え、土壌流出を防ぎ、斜面崩壊などの土壌風化を抑制します。また、プラス機能として雑草管理にも効果的です。

【開発の背景】

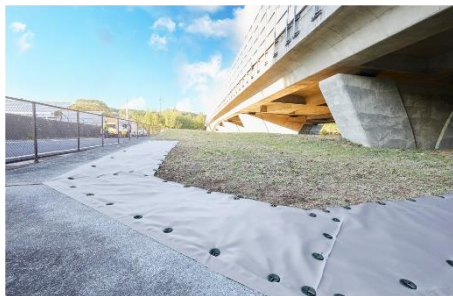
インフラ周辺の法面に課題とされていた二次災害予防や雑草管理について、高齢化による担い手不足(省力化)、除草剤の近隣への悪影響、およびランニングコストの削減といった課題に基づき新しい設計を行いました。これにより「(仮称)シリコンキャンバス」を敷設することで、資材廃棄の減少や耐用年数を伸ばしつつ品質保持も可能になり、土木業界のニーズに応えることが出来ました。

【商品説明】

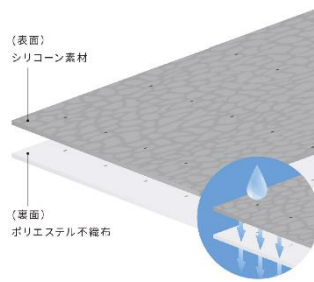
当商品は、シート裏面に、ポリエステル不織布を貼り合わせることで、地面との緩衝材の役割を果たします。原料であるシリコンの特長は、高い耐久性で品質維持に繋がり耐熱性も高く、高温でも燃焼しにくいいため危険性は低く、総じて特性に変化がなく、耐寒性にも優れています。屋外に敷設しても柔らかく割れないため、品質変化がみられないことが大きな特長です。

※シリコンとは地球資源を配慮した環境にやさしい素材です。ケイ素(Si)と酸素(O)が交互にシロキサン結合(Si-O-Si)した構造合成樹脂です。シリコンの主成分であるケイ素は地表近くに存在する元素の中で酸素に次いで2番目に多く、枯渇する心配のない元素と言えます。

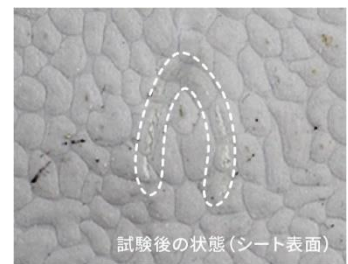
※敷設方法は、従来通りなので特別な技術は要しません。



敷設イメージ



シリコンキャンバス断面図



試験後の状態(シート表面)



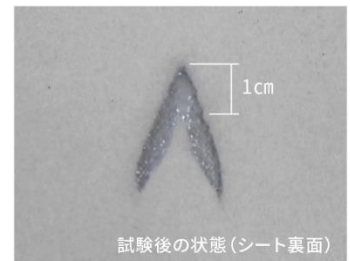
施工事例のご紹介



シリコンキャンバス 動画



シリコンキャンバス燃焼試験



試験後の状態(シート裏面)

【価格】オープン価格【発売日】2024年4月中旬


【今後の販売目標】初年度 目標年間売上：3,000万円(税別)

3年目 目標年間売上：9,000万円(税別)

【商品担当部署】小泉製麻(株)国土環境事業部(078)841-9344

■会社概要

社名 : 小泉製麻株式会社
代表者 : 代表取締役社長 小泉 康史
所在地 : 〒657-0864 兵庫県神戸市灘区新在家南町1丁目2番1号
創業 : 1890年(明治23年)6月
事業内容 : 産業用繊維製品・緑化土木資材・農業資材などの製造販売・開発
URL : <https://www.koizumiseima.co.jp>

 小泉製麻グループ

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

株式会社小泉ビジネスソリューション

広報担当者 : 篠原 麻裕子

TEL : 078-841-4142 FAX : 078-841-4145

HPアドレス : <https://koizumi-bs.co.jp>

e-mail: shinohara@koizumi-jm.jp